

◆ 今定例会では、2件の議員発議案が提出され、可決しました。

◆ 発議案第6号
新型コロナウイルス等感染症対策調査特別委員会の設置

新型コロナウイルス感染症が全国で猛威を振るい、地域経済に大きな影響を及ぼしている。市内経済と市民生活の安定に向けた施策の展開が重要なことから、議会の役割と市民の民意を反映するという役割を十分に果たすために、特別委員会を設置する。

特別委員会は、議長を除く17名で構成し、任期は令和4年10月末までとした。委員長 萩野 幸弘 副委員長 佐々木 敦緒

◆ 発議案第7号
遠野市議会におけるICT活用の推進に係る申し入れ

情報通信技術（ICT）の利活用による、市民の多様な意見の把握、市民への情報提供、議会運営の効率化、自然災害や感染症等に対する危機管理への対応など、議会機能の強化が求められる。議会におけるICTの利活用に向けた市当局との協議の場の設置及び「遠野市議会ICT推進基本計画」策定への参画を求め、市当局に申し入れするもの。



12月16日、市に対し申し入れを行った。

議長選挙 浅沼幸雄議員 当選

今定例会では、9月定例会での議長不信任動議可決を受け、浅沼幸雄議長が辞職したことに伴い、議長選挙を行いました。

選挙は、議員申し合わせにより、立候補形式を導入。浅沼幸雄議員、多田勉議員2名の候補者が次のとおり所信表明を行いました。

浅沼 幸雄 議員

9月定例会での議長不信任の可決を受け、法的拘束力はないものの道義的な観点から議長を辞任した。

しかし、不信任動議の提案理由の大部分について到底納得できるものではない。例えば、行事やイベント等におおむね100パーセント出席していると認識しているし、産業建設常任委員会からの市への要望書に関してもストップしようとした事実は確認できなかった等の理由により、改めて市民のために活動しなければならないと考え再び立候補した。

多田 勉 議員

遠野市議会の進むべき方向を誤らず、審議のスピードを緩めることはできない。誇りある遠野市議会の歴史を真摯に自覚し、着実にその歩みを前に進める努力が必要である。

厳しい状況の中で必死に遠野市政発展を支えている市民の思いと期待を忘れずに、我々は一丸となって取り組むことが重要。

地方自治法に定められる議会制度を遵守し、市民の信頼を損なうことなく、市民の負託に応えるための議会運営を図る所存である。

11月臨時会

新型コロナウイルス感染症の経済対策（9,458万円）、予防対策（81万円）の補正予算を可決したほか、教育委員会委員任命、固定資産評価審査委員会委員選任の人事案件4件について同意しました。

主な感染症対策事業

- 資金繰りの元金返済に対する緊急支援
- 市内事業者の情報通信機器の整備に補助
- withコロナ、afterコロナに対応するための生産設備投資に補助
- 商工団体や中小企業団体等が行う消費回復に向けた事業支援
- 妊婦のインフルエンザ予防接種に要する経費に補助

12月臨時会

新型コロナウイルス感染症の経済対策（2,870万円）、予防対策（33億4,658万円）の補正予算を可決しました。

主な感染症対策事業

- ひとり親世帯等への臨時特別給付金の再支給
- 売上が減少している中小企業への家賃支援期間の延長
- 売上が減少している飲食業者に補助金交付
- ケーブルテレビFTTH（光ケーブル）化の整備
- 設備・資材等を整備する医療機関への補助金交付

市民の 声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。（文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。）



クイズのコーナーは必ず見ます。いつもナンクロ、ナンプレなど解いて出すのが好きなので、当選する事を祈っています。（松崎町、69歳、女性）

私は県交通とデマンドバスを利用して暮らしています。補助金も大変なことも分かりました。タクシー助成金ありがとうございました。（小友町、82歳、女性）

90歳まで生きました。幸せです。これからも市民の幸せのために活発な議論をお願いします。（土淵町、90歳、男性）